Racing Development TRD

# MS230-18001 ステアリングホイール

取付・取扱説明書

この度はＴＲＤ ８６用ステアリングホイールをお買い上げ頂きありがとうございます。開封時に商品外観の傷、凹み等をご確認下さい。本書には上記品の取付と取扱いについて記載してあります。取付前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

## ■品番・適合

| 品　番 | 車両型式 | 備　考 |
|---|---|---|
| MS230−18001 | ZN6 | |

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧下さい。<http://www.trdparts.jp/>

## ■構成部品

| | 部　品　名 | 数量 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 1 | ステアリングホイール | 1 | ホーンパッドは含まれていません。 |
| 2 | 取付・取扱説明書(本書) | 1 | |

1

2

## はじめにお読み下さい

■ 製品は十分な検査後に出荷しておりますが、運送の際などに起こる損傷・破損が無いかを取付ける前に確認下さい。
損傷・破損が見られた場合には、必ずお買求めになったお店にお持ち頂き、確認を受けて下さい。
配送後、一週間を経過した後の商品、又、車両への取付後のクレームもお受け出来ませんのでご承知おき下さい。

### 危険・警告事項

⚠危険：本製品を加工・改造をしての取付けは絶対にお止め下さい。
⚠危険：本製品が著しく衝撃を受けた場合は損傷・破損の恐れがありますので、そのまま使用せず、お買求めになったお店にて点検を受けるようにして下さい。
⚠警告：自動車の部品交換は、本来整備の整った自動車整備工場で専門教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。必ず整備が整い、自動車修理の有資格者がいる整備工場で取付けて下さい。
⚠警告：幼児や子供、ペットを伴っての作業はしないで下さい。部品を飲込む等の思わぬ事故に繋がる場合があります。

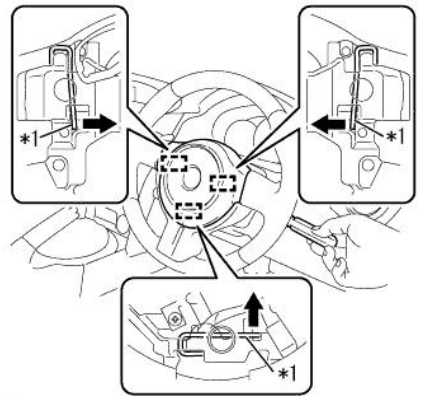
### 交換作業上の注意

⚠注意：マイナスターミナルを切離す前にダイアグノーシスの確認を行って下さい。
⚠注意：マイナスターミナルを切離すとメモリーが消去されるシステムがあるため、作業前に各システムのメモリー内容を記録し作業後に再セットして下さい。
⚠注意：パワーウインドゥには全閉時にドアガラスが室内側に移動する機構が設けられているため、ドアガラスを全閉状態でドアを開閉するとモールが損傷する恐れがあるので、Ｄ席Ｐ席共にドアガラスを全開にしてからバッテリーのマイナスターミナルを切離して下さい。
⚠警告：ステアリングの交換作業は、ＳＲＳエアバックシステムに影響する作業があるため、作業前には必ず修理書にてＳＲＳエアバックシステムの注意事項を確認した後に、作業を始めて下さい。
⚠警告：エアバック及びプリテンショナーシステムはバックアップ電源を備えているため、バッテリーマイナスターミナルを外してから９０秒以内に作業を開始するとエアバックが作動する恐れがあるので、開始時間は厳守して下さい。
⚠警告：ステアリングエアバックを取外した際は、必ず展開面を上向きにして保管して下さい。

アドバイス
**・作業前に当該車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)のステアリングの作業内容を良く確認し作業を行って下さい。**
**組付間違い等により、必要時にエアバックが展開しない等のことが無いように正確な組付けを行って下さい。**
**・ステアリング装着完了後にエアバックウォーニングランプの点検を行って下さい。**

Racing Development TRD トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

図１

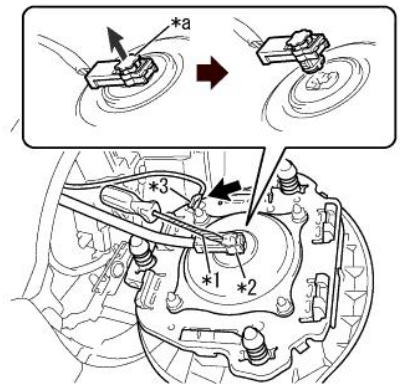



## １．ホーンボタンＡｓｓｙ取外し

１．タイヤ&ステアリングホイールを直進状態にする。
２．バッテリーマイナスターミナルを切離す。
３．図１を参考にマイナスドライバーを使用し、トーションスプリング３箇所のかん合を外す。
４．ホーンボタンＡｓｓｙを車両後方に引出す。

⚠警告・注意
・バッテリーマイナスターミナル切離し後、９０秒以上待って作業開始して下さい。
・ホーンボタンＡｓｓｙを引出す時に、配線を引っ張らないように注意して下さい。

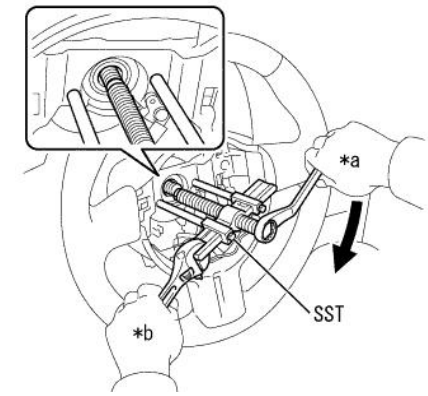
図２




５．図２のように保護テープを巻いたマイナスの薄刃ドライバーを使用しエアバック用コネクター（＊２）のロックを引き上げて（＊ａ）解除する。次にホーン用コネクター（＊３）を切離しホーンボタンＡｓｓｙを取外す。

⚠警告・注意
・ホーンボタンを落下させないように注意して下さい。
・保管は必ず、展開面を上向きにして保管して下さい。

図３



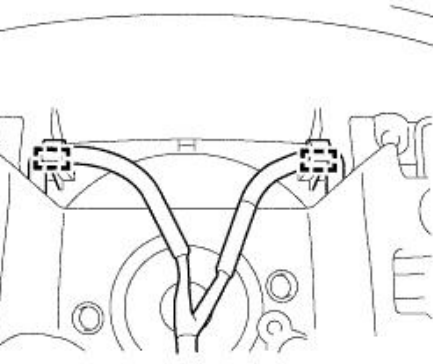

## ２．ステアリングホイールＡｓｓｙ取外し

１．各コネクターをスパイラルケーブルから切離す。
２．センターナットを外し、必ずステアリングプーラを使用しステアリングを取外す。

⚠注意
・必ずＳＳＴを使用して外して下さい。
・＊ｂを保持して＊ａを廻して外して下さい。

⚠警告
**・ステアリング取外し後、スパイラルケーブルＳＵＢ－Ａｓｓｙの位置を代えたり、廻したりしないで下さい。**

図４

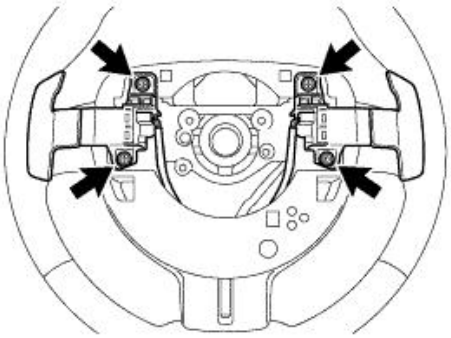


## ３．トランスミッションシフトスイッチ取外し（シフトパドルスイッチあり）

１．クランプのかん合２箇所を外しワイヤーハーネスをステアリングホイールＡｓｓｙから切離す。

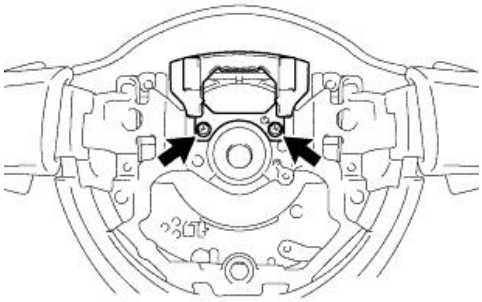
Racing Development TRD トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

図５



２．図５のスクリュー４本を外しトランスミッションシフトスイッチをステアリングホイールＡｓｓｙから取外す。

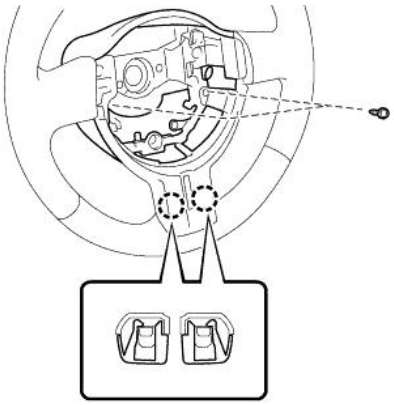
図６



## ４．ステアリングホイールの分解

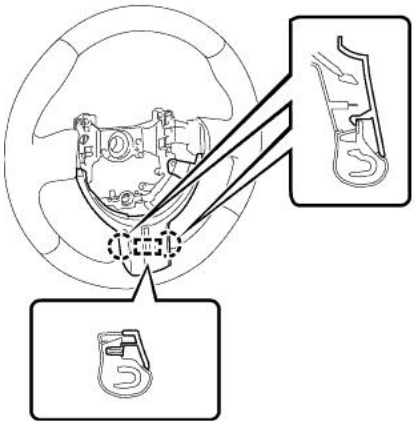
１．図６のスクリュウ２本を外し、ステアリングシェイクダンパー、をステアリングＡｓｓから取外す。

図７



２．図７のスクリュー２本を取外し、下部のツメ２箇所のかん合をはずし、ステアリングホイールボスカバーＬＷＲをステアリングホイールＡｓｓｙから取外す。

図８



３．図８のツメ２箇所とガイドのかん合をはずし、ステアリングホイールオーナメントＮｏ１をステアリングホイールＡｓｓｙから取外す。

４．トーションスプリング＊１（図１参照）を取外す。

## ５．ステアリングホイールの組付～車両取付

１．　図８→７→６の順に純正ステアリングより外したステアリングホイールオーナメント、ボスカバーＬＷＲ、シェイクダンパー、トーションスプリングをＴＲＤステアリングに移植し組付ける。

２．図５→４の順に、トランスミッションシフトスイッチ、ワイヤーハーネスを取付ける。

３．上記１．２でＡｓｓｙ化したＴＲＤステアリングを車両に取付け、３９Ｎ･ｍナットを締付ける。

⚠ 警告・注意

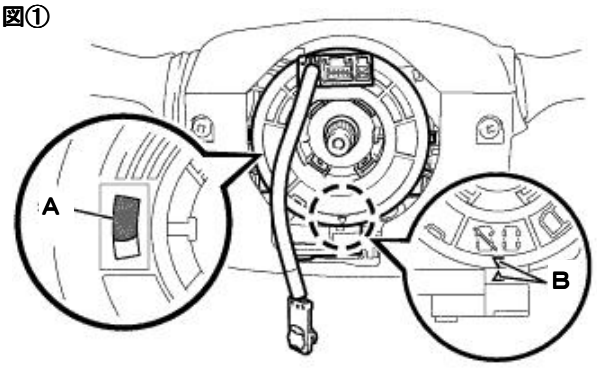
**・ステアリングホイール取付時、必ずスパイラルケーブルのセンタリング（次ページ参照）を確認して下さい。**

４．ホーンボタンＡｓｓｙにエアバックとホーン配線を接続し、ステアリングに取付ける。

５．エンジンを始動し、エアバックウォーニングランプが正常に点灯し、消灯する事を確認する。

# ＜参考＞ スパイラルケーブルセンタリング作業

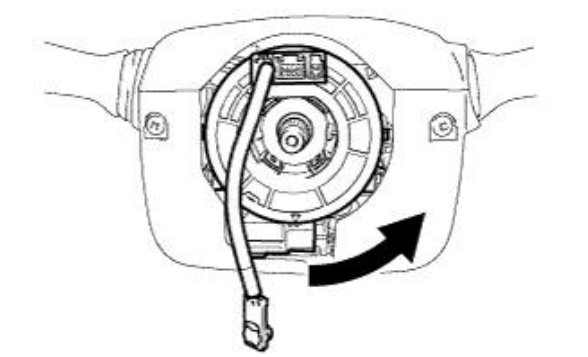
図①




## スパイラルケーブルの中心位置を確認する

- **左図①のように、Ａ部とＢ部でセンタリングを確認する。**
  **Ａ部 → 着色部**
  **Ｂ部 → 合わせマーク**
- **スパイラルケーブルＳＵＢ－Ａｓｓｙ（センサー付）が中心位置にある時は、Ｂ部合わせマーク位置が一致していて、Ａ部の着色部が確認できる。**
- **上記で中心位置が確認できた際は、ステアリングを取付けて下さい。**

図②



## 中心位置でない場合は、センタリングを実施

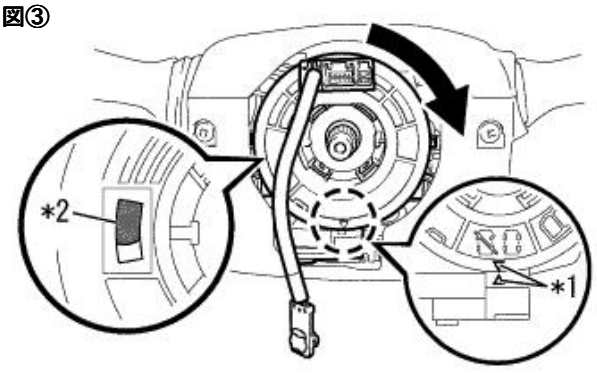
⚠ **警告・注意**

- **ＩＧ ＯＮ及びバッテリー接続状態でスパイラルケーブルＳＵＢ－Ａｓｓｙを回転させない事。**
- **断線防止の為、力をいれずに軽く回す事。**
- **エアバックのコネクターや配線を持って回さない事。**
- **断線防止の為、指定された回転数以上回さない事。**

## センタリング作業

1．**左図②のようにスパイラルケーブルＳＵＢ－Ａｓｓｙを反時計方向に、ゆっくりロックするまで回転させる。**

図③




2．**左図③のようにスパイラルケーブルＳＵＢ－Ａｓｓｙををロックした位置から着色部が確認できるまで時計方向に２．５回転戻し、合わせマークを合わせる。**

アドバイス

- **スパイラルケーブルは最大、約５回転します。**
- **センタリングが出来ない場合はスパイラルケーブルが断線している可能性がある為、スパイラルーブル及びステアリングセンサーを新品に交換して下さい。**